

## 魚切

- ① 東城川の上流にある魚切は、大岩と急流と深い淵を持った場所で、人が吸い込まれそうな景観を呈している。昔は「猿侯が居るから近づくな」と子供に親が注意していたというのもうなづける。
- ② かつては長さ 17 間、幅 2 間の魚切橋がかかり、修繕は奴可郡全体で行われていた。
- ③ 岩の上には、当時の石積みや橋脚の跡が残っている。ここは川西村との引継地点であり、受原村の要所でもあった。橋のもとには小さなお堂や石仏もあり、当時の面影を残している。近くには東城第 2 大橋が見え、今も昔も大川を渡ることは大変なのである。

